

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	KTC放課後等デイサービスはぐぼんclass千種駅北				公表日	2025年 3月 10日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		利用者さんに合わせて内容を変更したり臨機応変に対応できている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		適切な人員配置。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		視覚的にわかりやすく提示する工夫を行っている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		日々の朝夕の清掃・年3回の大掃除で清潔な空間を保っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		個室を体調不良者の休憩場、パニック時などのカムダウン・クールダウン、フィッティングルームとして使用している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		定期的なMTGを開催している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		評価表からご意見を全員で共有し、改善に繋げている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		都度意見が発信できる環境を整えている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2		外部評価を強化していく必要がある。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		法人内で定期的にMTGを行っている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		支援員全員が参加した会議をもとに作成されている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		全員の意見を反映し、共通理解している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		共通認識ももと支援を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		業務日誌や連絡帳を使い、確認している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		様々な観点・視点からの支援を計画している。利用者さん、ご家族に合わせ支援を計画している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		全員参加のMTGで立案している。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		季節の行事なども取り入れ、固定化しないようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		利用者さんのその時の状態に合わせて支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		毎朝のブリーフィングで共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		期間ごとやその日その場で振り返り、共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		業務日誌などで記録し、改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		定期的に行い、見直しをしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4		一つの活動に偏らないように組み合わせながら行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		利用者さんの自己決定を重視している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		関係者と共有し、理解を深めている場を設けられている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	地区の部会などに積極的に参加し、連携体制の構築を心がけている。	医療機関との定期的な関係構築が必要である。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		行事予定等の共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		4		現在対象者がいないため実施していない。対象者が入所した場合は速やかに実施する。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		関係機関と密に連絡を取り、連携体制が構築できている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2	地区の部会に定期的に参加し機会を設けている。	様々なスタッフが参加できるようにしている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4		今のところ機会がない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2	定期的に参加している。	特定のスタッフだけの参加になっているので、今後は他のスタッフに参加してもらおう。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		連絡帳の活用。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		外部講師を招いて、講演会などを実施している。	
保護者等への説明	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時の説明、定期的な面談でも説明。月1回の通信物での説明。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		三者面談等を実施し、意向を確認している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		丁寧な説明を心がけている。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		面談だけでなく、連絡帳やメールなども使い実施している。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	2		今の所要望がないので、保護者同士が交流する場は設けていない。今後要望が多ければ保護者会などを実施を検討していく。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		MTG等で共有し、迅速に対応している。	
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		月に1回の割合で通信物を発信している。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		鍵付き書庫で厳重に保管している。	
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		視覚的にわかりやすく提示する工夫を行っている。	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		地域の方が参加できるイベントを企画している。	
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		最低での月1回訓練を実施している。	
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		最低での月1回訓練を実施している。	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		保護者との連携、アセスメントシートでの把握を行っている。	
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		保護者との連携、アセスメントシートでの把握を行っている。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全管理の徹底を図っている。	
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		周知できている。	
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		報告書を作成し、共有し、再発防止を心がけている。	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		虐待防止研修を定期的実施している。	
54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		契約時に説明し同意をいただいている。		